

アンケート結果を受けての考察

この度は、ご多用の中6月中旬にお配りしましたアンケートにご回答いただき誠にありがとうございました。また、たくさんの率直なご意見もいただき、とても参考になりました。今回のアンケート結果を受けて、4点ほど、考察を申し上げます。

- ① 活動の内容として、児童と直接関わる事が多く求められていること。
- ② 加入届、非加入届を求める意見が一定数あったこと。
- ③ 何かしらの形で手伝えることがあれば、学校に協力したいという思いがある会員さんがいること。
- ④ P T A を見える化する事により情報発信をしていくことが大切である事。

<活動の内容として、児童と直接関わる事が多く求められていること>

特に子供たちの見守り活動や運動会の手伝い、いなフェスや児童たちが楽しめる活動といった児童と直接関わる活動が求められていることがわかりました。一方で児童との間接的な活動においては、重要さが低くなってしまいう傾向があります。例えば、災害時の備蓄をしている事やベルマーク活動でミシンを購入している事などがあるかもしれません。

これは、運営側として会員のみなさまにむけてこのような活動を知ってもらうための行動が少なかった事も考えられます。今後は、たくさんの方々に知ってもらうように例えば、活動内容をホームページに載せたり、情報発信を積極的に行っていければと考えています。

<加入届、非加入届を求める意見が一定数あったこと>

今回、アンケート結果の選択肢のなかで、加入届の有無や非加入届について選んでもらう項目がありました。すでにご存知の方々もおられると思いますが、P T A は任意団体になります。そのため、加入するかしないかは、保護者の選択に委ねられることとなります。このような選択ができる環境がなかったのは、運営側としても反省するところでございます。一方で、加入届がなくてもいいというご意見も多かったのも見受けられました。日頃から、P T A 活動に対しご理解をいただき、そして応援していただけていると感じており、もしもそうであれば、とてもありがたいことだと思っております。これに、あぐらをかかずに、引き続き丁寧な活動をしていきたい所存でございます。

今回のアンケート結果を受け、今後は加入届の作成などについて、検討事項として、運営役員や学校とも話しあいを重ねて参りたいと考えております。そして、会員のみなさまのご理解が得られるような団体でありたいと考えております。

<何かしらの形で手伝えることがあれば、学校に協力したいという思いがある会員さんがいること>

今回、学校への教育活動へ協力したいですか？というアンケートで、約75%の方が何らかの形で協力したいお気持ちでいらっしゃるということがわかりました。会員のみなさまの学校への関心や何か協力したいというお気持ちがあるという事に、とても感謝しております。

現在、共に働いている世帯の割合は、およそ7割と言われております。40年前は、専業主婦の世帯が7割くらいと言われていましたので、40年で逆転していることになりました。そのような状況で、同じ活動をし続けることは、とても難しいと考えております。今後は、お仕事をしている方でも少しでも協力できる活動や在宅でもできる活動があるか模索していきたいと考えています。

<PTAを見える化することにより情報発信をしていくことが大切である事>

全体を通して感じた事は、各委員会の方々には、日々とてもありがたい活動をしていただいているものの、その活動が広く周知できていないという事がわかりました。どんな活動をするにしてもその内容がわかりにくければ、協力したい気持ちにもなりづらくなると考えています。

私自身、運営に携わった時に、PTAとは？どんなことをするの？と右も左もわからずにいたのが正直な気持ちでした。今でもわからないことは多いですが、自分で調べてみたり、教えてもらう日々です。そして、言葉だけ知っていてもその内容がわからなければ、やってみようという行動にはつながりにくいだろうと考えています。今後は会員のみなさまの活動へのご理解を得られるよう、「PTA活動の見える化」の取り組みも出来ればと考えております。

今後ともPTA活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

川崎市立稲田小学校PTA会長 大貫真宏